



# ぶどう特報

## #2



2023年3月30日  
JA 中野市営農センター  
JA 中野市ぶどう部会

発芽は平年より7日前後早まる見込みです。土壌乾燥等による結果母枝の枯れ込み・発芽不良・生育の不揃いが心配されます。園地の保水は早め実施してください。また、樹体観察を適宜行い、休眠期・発芽前の防除を適期に実施してください。

年度	巨峰発芽	シャイン発芽	特記
平年	4/26	4/30	過去10年平均値 (H25~R4)
2022年 (R4)	4/25	4/28	発芽平年並。低温で開花停滞。
2023年 (R5)	4/18~20頃	4/22~24頃	発芽平年比△5~7位の見込み

### 【第1回 定期散布 \*対象：巨峰・ナガノパープル等】

散布時期	発芽直前 *4月上旬頃		
散布薬剤	水	100ℓ	散布日：4月 日 散布量： _____ リットル
	展着剤 (ハイテンパワー)	10 ml	
	パスポート顆粒水和剤	400g (休眠期・1回)	
散布量	300ℓ/10a		
適用病害虫	晩腐病・黒とう病		
注意事項	① 晩腐病密度抑制のため、発芽前に散布完了する。		

### 【第1回 定期散布 \*対象：シャインマスカット・クイーンルージュ®等】

散布時期	発芽直前 *4月中旬頃		
散布薬剤	水	100ℓ	散布日：4月 日 散布量： _____ リットル
	展着剤 (ハイテンパワー)	10 ml	
	デランフロアブル 劇	500 ml (休眠期・1回)	
散布量	300ℓ/10a		
適用病害虫	黒とう病・晩腐病		
注意事項	① 黒とう病密度抑制のため、発芽前に散布完了する。 ② 注意！デランフロアブルは葉焼けなどの薬害が発生するため、発芽前に散布完了する。		

～ 裏面もご覧ください。～

## ◆ 病虫害対策

### ① 粗皮削り

- ◆ 目的：ブドウトラカミキリ・カイガラムシ類・クビアカスカシバ等の主幹害虫対策
- ◆ 時期：藁外し終了後（4月上旬）
- ◆ 主幹害虫は基本的に粗皮下で越冬するため、休眠期防除前に粗皮削りを行い、薬剤が直接かかるようにする。

### ② 黒とう病・晩腐病対策

- ◆ 発病痕の除去：巻きひげや去年の発病を棚面から除去
- ◆ 枝管理（芽かき・新梢整理）を徹底し、葉液や空気の通りを良くする
- ◆ 薬剤散布は予防を意識し、生育ステージを確認しながら、やや早めを実施する
- ◆ 早期の袋かけの実施

## ◆ 植え付け必要資材

### ① 堆肥の施用

- ◆ 目的①：有機質の補給（化成肥料の使用は控える）
- ◆ 目的②：土壌改良（生育促進、新根発生促進、微生物増殖）
- ◆ おすすめ資材：エアープイント、エコマッシュ、スーパー響土 等

### ② 木炭

- ◆ 目的：通気性、透水性・保水性向上、土を柔らかくする
- ◆ おすすめ資材：もみがらくん炭、去年の枝の炭 等

### ③ リン酸：発根促進

- ◆ おすすめ資材：コーエーユーキリン

### ④ その他：スコップ、支柱、たっぷりの水（バケツ2杯分以上/1本）

## ◆ 植え付け方法

### ① 植え付け時期：4月中旬以降（地温上昇してから）～ 発芽直後まで

### ② 苗木は24時間以上、根を水につけこんで吸水させる。 \*乾燥による枯死防止

### ③ 直径80～100cm、深さ30～40cm程度の植え付け穴を掘る。

### ④ 掘り上げた土にエアープイント等の堆肥(1/2～1/3袋)、もみがらくん炭(10kg程度)を混ぜ、半分程度を穴に戻し、穴の中心が盛り上がるようにする。 \*深植え防止

### ⑤ 苗木の根を切り揃え、ユーキリン(1～2つかみ分)を根に付着させる。

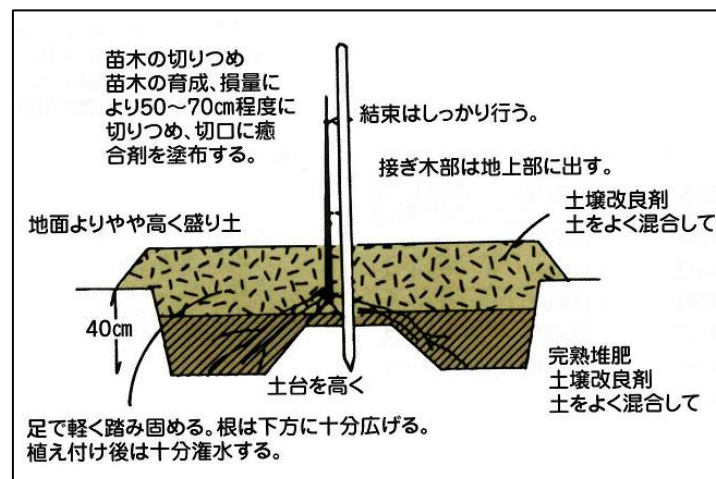
### ⑥ 穴の中心に苗木を置き、根を放射状に広げて、残りの土を戻す。

### ⑦ 苗木の芽を3～4芽程度に切り詰め、支柱を設置し苗木を誘引する。

### ⑧ たっぷりとかん水を行い、植え穴が乾燥しないようマルチやワラで地面を覆う。

\* エアープイント・もみがらくん炭・ユーキリンは営農資材店にて取り扱っています。

\* 化成肥料を施用する場合は、定植後とする。多量の施肥は根をいためる場合があるので注意する。



次回特報配布予定：4月組員訪問 カイガラムシ類特散・展葉3枚目の定期散布